

[横浜市磯子区民文化センター杉田劇場]
令和2年度 自主事業報告

1 施設の概要

施設名	横浜市磯子区民文化センター
所在地	横浜市磯子区杉田一丁目1番1号
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上30階建ての、南棟1階および4階から7階部分の一部を専有（区分所有）
敷地・延床面積	延床面積 2,999.72 m ²
開館日	平成17年2月5日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／特定非営利活動法人チーム杉劇 有限会社アイコニクス／株式会社ニックスサービス 共同事業体
代表団体	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

3 基本的な方針

【総合的な方針】

これまで築いてきた区民との関係性、ネットワークを活かし、文化の力で地域の活力を向上させ
「笑顔あふれるまち・いそご」実現に貢献する

【第4期指定管理期間中の取組】

多様な区民の社会参画の機会創出
文化的コモンズ形成

【令和2年度の業務の方針及び達成目標】

社会的包摂の視点を踏まえ、幅広い方々が音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供する

◇達成目標：「WELCOME いそご」（新規）・「にこにこ見本市」（新規）を開催する

多層的なコミュニティを文化の力でつなぎ、地域の絆をより強固なものにする

◇達成目標：「杉劇アート de 伝承プロジェクト」を継続して実施し、コミュニティのつながりを強化する

地域の様々な施設・団体・資源（教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつける

◇達成目標：「夏まつり」、「冬まつりライブ」など施設開放イベントなどへの新規参加団体を増やす

4 令和2年度事業報告

【全体振り返り】

第4期の指定管理1年目にあたる令和2年度でしたが、事業計画で掲げていた多くの事業は、コロナ禍で実施できない状況に陥りました。

4月当初から、緊急事態宣言下のもと全館休館となり、施設運営そのものが全く機能しない中で、ご利用者の不安を募らせないように、とくに上期は、コロナ禍でご利用ができない利用者への返還手続きや相次ぐキャンセル対応なども丁寧に行いました。緊急事態宣言が解除された後も、横浜市ガイドラインに沿って、一部制限付きで開館しました。一方で、コロナ感染予防対策のために助成金を獲得し、コロナ禍においても安心して安全な施設を維持できるよう、施設管理・運営面では多くの時間をコロナ感染予防対策に費やしてきました。年を開けてからも2度目の緊急事態宣言も発出され、時短での開館になりました。来館者を控える方が多い状況が続きました。

事業面では、ほとんどの主催公演・共催公演・協力公演が中止・延期になりましたが、コロナ禍ゆえに制限されてしまった文化活動や本物に触れる機会の再開を希求する地域の声を数多く受けました。対面の情報交換の場がなくなっている中でしたが、コロナを契機とした助成金を活用しての事業や、区内の文化施設との連携事業や、学校との連携事業、SNS・映像の活用などがうまれました。

次年度以降も、コロナ禍で先が見えず、ガイドラインに沿って、施設運営の安全性の確保をしながらも、3密を避けてご利用いただく難しさ、収支構造がどこまで改善できるか、事業計画に掲げた事業がどこまでできるか、多くの課題を残しましたが、あらゆる人が集まる場としての区民文化センターが、コロナ禍では、単に多くの人を集めないということだけでなく、集めないでどのような形で多くの人に文化を届けられるか、新たな地域文化に貢献する方法、発信する方法なども探っていきたい考えています。

(1) 事業計画

ア 使命1：磯子区の外国人、障がい者、様々な経済事情にある方、子どもや高齢者、性別にかかわらず幅広く属性の方などへ、社会的包摂の視点を踏まえ、音楽、演劇、ダンス、美術などの芸術文化に触れる機会を提供することで、感性豊かで多様な価値観を受け入れるための区民文化形成に貢献する。

◇◇あらゆる人が集い、笑顔があふれる広場をつくります

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
<p>1 磯子区内の外国人就労者との交流会「WELCOMEいそご」を始めます。 (年2回)</p> <p>2 あらゆる人たちが参加し、楽しめる作品展「杉劇ニコニコ見本市」を始めます。(年1回)</p> <p>3 こどもたちに文化芸術の豊かさや発信する力を体験してもらい、創造する力や考える力を育みます</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響により、幅広い交流企画を実施するのが困難な状況であったため、「WELCOMEいそご」の開始を見合わせました。</p> <p>2 「杉劇ニコニコ見本市 出会いと実り 塚田麻美・國吉あゆみ 二人展」を開催しました。 ■令和3年2月1日～7日開催 来場者170名</p> <p>3 「杉劇アート体験塾」を開催(計352名来場) ■7月7日 横浜夢座 朗読音楽劇「真昼の夕焼け」 杉田小学校 90名 ■12月7日 若獅子会 時代劇の魅力 「殺陣の体験、踊りの体験、昔のことば体験」 洋光台第3小学校 49名 ■12月10日 雅楽 「管弦と舞楽 鑑賞と体験」 根岸小学校 124名 洋光台第2小学校 89名 合計213名</p> <p>「横浜市芸術文化教育プラットフォーム学校プログラム」を実施 密を避けて、会場を工夫しての実施。(以下、実施順) ■5校 計448名参加 ①浜小学校 4年生96名 2日間(クラス別) ジャンル:音楽 (箏の体験、鑑賞) ②洋光台第二小学校 5年生82名 1日間(体育館) ジャンル:国語</p>

	<p>(能の体験・謡「高砂」の実習・能「羽衣」の鑑賞)</p> <p>③梅林小学校 5年生 70人 2日間 (クラス別) ジャンル:音楽 (箏の体験、鑑賞)</p> <p>④汐見台小学校 6年生 156名 2日間 (クラス別) ジャンル:音楽 (箏の鑑賞、体験) 3日間</p> <p>⑤さわの里小学校 1年生 44名 3日間 (図工室・校庭) ジャンル:音楽・美術 (音楽と造形をミックス 風と遊ぼう「新春風祭」)</p>
<p>4 地域の誰もが杉田劇場に集い、交流する機会をつくります</p>	<p>4 「杉田劇場夏まつり」「冬まつりライブ」の実施と、「磯子音楽フェスティバル(仮称)」の立ち上げは見合わせました。</p> <p>代替企画として、「国吉あゆみ個展〈つなぐ海〉×杉田劇場ギャラリーに海をつくろう!」を開催し、SNS等も活用して募集し、その展示状況を発信していく「来場しなくても参加・交流できる」企画を開催しました。市外からも多くの作品の参加がありました。</p> <p>■8月16日～22日開催 来場者 256名 作品総数 705点</p> <p>また、「冬まつりライブ」の代替として企画した「杉劇☆歌劇団 本公演『うちへおいでよ!』」は、緊急事態宣言の発令を受けて、関係者のみの無観客公演に変更して実施しました。</p> <p>■令和3年2月7日 来場者 85名</p>
<p>5 幅広い層に幅広いジャンルの文化芸術を身近な劇場で楽しんでもらう工夫をします</p>	<p>5 これまでも活用していた Twitter に加えて、杉田劇場公式 YouTube チャンネルと Instagram のアカウントをスタートしました。</p> <p>既存の事業(「真鍋尚之 笙リサイタル」や「杉劇リコーダーズ 第10回定期演奏会」など)の関連動画のほか、地域のアーティストをフィーチャーした動画や、フェリス女学院大学からのインターン生による施設紹介動画など、多様な内容の動画を配信しました。</p>

イ 使命2：芸術文化に関する様々な参加の窓口を用意し、地域住民が潜在的に持つ文化芸術活動の可能性を広げることに貢献する。また、地域で文化活動を主導する人材を増やす。

◇◇すべての区民が文化の担い手一人ひとりが生きる力を育む場になります

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
<p>1 杉劇@助っ人隊（ボランティア組織）メンバーのモチベーションを高め、活躍の場を広げます</p> <p>2 杉田劇場発、「杉劇リコーダーズ」が地域の課題解決のために、アウトリーチ活動を拡大します</p> <p>3 地域発、演奏団体・劇団が杉田劇場で本格的な舞台づくり、舞台公演をともに創ります</p> <p>4 地元の歴史や文化に愛着を感じる区民を増やし、地域文化の担い手を育成します</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、ボランティア参加者の安全等の確保が困難だったため「杉劇@助っ人隊」の活動を見合わせました。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、「杉劇リコーダーズ」のアウトリーチの実施を見合わせました。なお、「杉劇リコーダーズ」の活動自体は、感染拡大防止の観点から会場をホール限定し、検温・消毒等を徹底するなどして実施しました。</p> <p>3 「劇団横綱チュチュ」「劇団糸」の2団体とも慎重に検討した結果、公演の開催を中止し、関係者のみの試演を実施しました。</p> <p>4 「いそご文化資源発掘隊」は、街歩き企画と、50回を記念したホールとギャラリーでの企画を実施。</p> <p>■11月13日 「第49回 NTTのケーブル名は歴史の生き証人・電柱をめぐる小さな旅洋光台編」 24名</p> <p>■令和3年3月10日 「第50回 まち歩きが楽しくなる神社の話 ～コロナ禍の今だから知りたい祭りの源流～」 84名</p> <p>■3月31日～4月5日 「50回を記念する資料展示会」</p> <p>「杉劇☆歌劇団」は、新型コロナ禍でも可能な活動として、地域の魅力を盛り込んだ映像作品の制作と、その内容を基にした劇中劇形式の公演を制作しました。</p> <p>地域の協力により映像作品は完成しましたが、本公演については緊急事態宣言の発令もあり、関係者のみの試演を実施しました。</p> <p>「こども文化資源発掘隊」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を見合わせました。</p>

<p>5 様々なバックボーンの内ターン・職業体験の受け入れ</p>	<p>5 フェリス女学院大学から、夏季と春季に例年はインターン生を受け入れています、夏季は8月9日～9月10日の期間で、3名のインターンシップ生を受入れました。</p> <p>施設の運営や事業制作に携わってもらうとともに、杉田劇場公式 YouTube チャンネル用の施設紹介動画を、施設スタッフの指導の下、インターンシップ生が自身で企画・出演して制作して公開しました。</p> <p>春季(1月～2月)の内ターン生受け入れについては、コロナ禍ということで、大学側の意向で、オンラインの実習ということになったため、受け入れを辞退しました。</p> <p>なお、小中学校の職業体験学習については、根岸中学校他数件の問い合わせ依頼がありましたが、コロナ禍ということで、学校側から中止の申し入れが相次ぎ、1校も実施に至りませんでした。</p>
-----------------------------------	---

ウ 使命3：地域が抱える課題に対して、様々なアプローチにより、文化芸術活動の可能性を広げることにも貢献する。

◇◇文化の力とは 生きる力・地域を創る力・バリアを乗り越える力 区民の文化の力を結集する広場になりたい

<p>【事業計画】</p> <p>1 子育てを支援し、未就学児や親子に芸術文化に触れる機会や居場所・コミュニティの場を作ります</p> <p>2 高齢者や放課後の子ども達など、自</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、「ひよこ♪コンサート」「ロビーパフォーマンス(おでかけパフォーマンス)」の実施を見合わせました。</p> <p>なお、ステイホームの観点から、来館しなくてもアートに触れられるように、「ひよこ♪コンサート」に出演予定だったしゅうさえこ出演による手遊びと歌の動画2本(「さっこさんといっしょ ～あめふりくまのこ～」「さっこさんといっしょ ～かわいい かくれんぼ～」)と、過去のクリスマスコンサートの模様を編集した「ひよこクリスマス☆スペシャルムービー」を配信し、1万を超える視聴回数になりました。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、</p>
--	---

<p>宅でひとりになりがちな人々のための居場所づくりを行います</p> <p>3 地域課題への気づきの場として「杉田劇場夏まつり」</p>	<p>「杉劇ちょこっとカフェ」の開催を見合わせました。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症の防止の観点から、「杉田劇場夏まつり」の開催を見合わせました。</p>
---	--

エ 使命4：文化施設として求められる専門性と、地域施設として求められる役割をふまえ、地域の様々な施設・団体・資源（文化施設以外の教育施設、福祉施設、医療施設等）を、芸術文化を通じて結びつけることで、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に貢献する。

<p>【事業計画】</p> <p>文化的コモンズを地域の教育力、絆づくり、地域包括ケア等多層的なコミュニティのベースとして位置付け暮らしの中に文化のネットワークを形成します</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、「歌声プロジェクト」の実施を見合わせました。 2 学校教員の文化体験や研修企画は、学校側からの申し入れ等もあり、実施を見合わせました。 学校の単位での施設利用については、新型コロナによる施設の空き状況を活用する「杉劇学校連携プログラム」を試行し、小中高校で計7校の利用がありました。 3 伝承プロジェクトの一環として、年度内に「磯子文化ガイドマップ6」を制作しました。 「いそご文化円卓会議」は、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から実施を見合わせました。 4 警察・消防、磯子事業会や町内会などとは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から企画の実施が困難であったため、継続して情報交換を行いました。 5 （新規事業） コロナ禍で生まれた地域施設連携事業 「久良岐の森で音探し」（10月3日日曜日：無料） 磯子区館長連絡会の協力を得て、久良岐能舞台と連携をして、戸外でできる企画を提案し、演奏の場を求めている地元の雅楽団体を繋いで、野外（久良岐公園）で公園に散歩をしている人たちがそのまま参加できる企画を実施しました。
---	--

オ 使命5：利用者本位の運営を行うとともに、文化施設としての専門性を発揮して、利用者の文化活動がより良い活動となるよう支援を行い、磯子区民に親しまれる施設となる。

◇◇「今日は何をやっているのかな?」「誰かいるかな?」声を掛け合うみんなの広場になります

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 利用者の立場に寄り添い、一人ひとりに合わせた対応をします	1 web 経由でチケットが購入できる販売システムを 5 公演で活用するとともに、野村道子プロデュース 朗読歌劇「マダムバタフライ～ある晴れた日に～」では、購入者層を踏まえて、アニメイトオンラインを通じたチケット販売も行いました。
2 ユニバーサルデザインの 7 原則を踏まえ施設設備機能の充実を図ります	2 利用団体向けのオープンフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の防止の観点から実施を見合わせました。
3 利用団体を応援することで杉田劇場のファンを増やし、好循環を作ります	3 施設利用者・来場者を対象とした web アンケートを実施しました。
4 利用者等の声を反映して、マネジメントを育みます	4 貸館利用率実績は、新型コロナによる臨時休館や夜間コマの利用制限などもあり、施設全体での平均で、目標の 80%を大きく下回る 39%となりました。 ■ホール 39% ■ギャラリー 30% ■リハーサル室 32% ■会議室 A 27%/会議室 B 17%/会議室 C 27% ■練習室 A 59%/会議室 B 67%/会議室 C 46%
5 施設利用に関わる個人情報の保護	5 利用許可書に関する処理ミスが 2 件発生してしまったため、繰り返し研修や講義を実施して再発防止に努めています。

カ 使命6：適切な維持管理を行い、法令を遵守することで、安全で快適な施設を維持する。日常的に不具合箇所を確認し、小破修繕で対応できる予防的修繕にも着実に取り組む。複合施設に設置されている施設として、施設全体の維持管理において適切な役割を担う。

◇◇様々な人が訪れ 集い 憩う場所として安全・安心・快適な場であり続ける

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 施設の安全確保と長寿命化の視点による修繕の実施	1 日常的な賞は修繕に集対応するとともに、管理費の減免分を活用した電話交換機の更等を実施しました。
2 利用者に安心快適な日常における保守管理	2 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、特殊詐欺防止のための警察との連携イベントは開催しませんでした。
3 保守管理業務における委託業者について	3 9月に実施のあった磯子消防署による立入検査で指摘のあった4項目について、対応を検討・調整しました。
4 中期修繕計画の策定	4 新型コロナの影響により、収支状況の中長期的な見通しが立たなくなっているため、それと連動する中期修繕計画の策定までは実施できなかったが、エレベーター・エスカレーターの点検報告時期の見直しによる、予算提案の効率化等を行いました。
5 事故・防犯に対する取組み	5 施設の管理瑕疵に起因する事故・犯罪はありませんでした。
6 防災に対する取組み	6 危機管理マニュアルの整備・公開や、年間3回の防災訓練等を実施しました。
7 感染症対策等衛生管理	7 横浜市の「ガイドライン」に則った施設運営・十業実施のため、消毒等のための物品確保や受付・利用関連のフローの柔軟な対応、職員・スタッフの注意喚起などを行い、新型コロナの感染拡大防止に努めました。

(2) 施設運営について

ア 施設運営及び組織運営

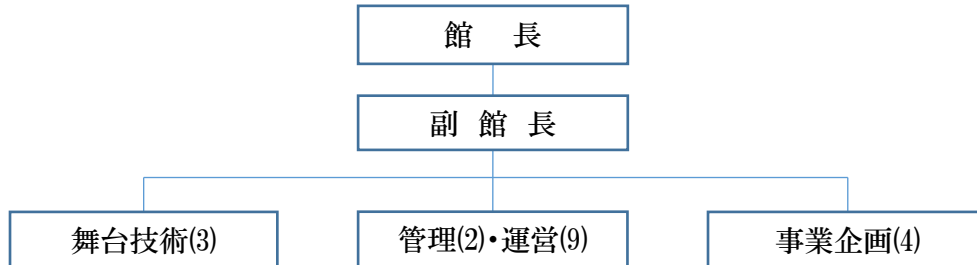
【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 共同事業体による専門性と地域の力を融合させた運営を行います	1 共同事業体間の情報共有を密に行い、スタッフ間でも気軽に意見交換・提案ができる環境を構築して、施設運営にあたりました。
2 各団体が業務を分担し、適切に人材を配置し、地域での活動を踏まえた効率的な勤務体制をとります	2 新型コロナウイルスの影響による臨時休館や営業時間変更などのイレギュラーな状況にも即応し、施設利用にも影響を及ぼすことない勤務体制を継続しました。
3 施設利用や舞台に関する技術的な相談等を受けられる体制を維持します	3 常駐の舞台スタッフによる専門的な技術相談のほか、それ以外のスタッフによる公演制作や施設運営の知識やノウハウを活用した幅広い相談対応を行いました。

イ 必要人材の配置及び能力担保

1. 共同事業体の構成

財団（副館長）／NPO 法人チーム杉劇（事業、施設運営、維持管理）／
 （有）アイコニクス（舞台）／（株）ニックスサービス（清掃、設備保守、管理）

2. 人員体制



役職・担当		所属
館長		財団
副館長		財団
舞台	照明	アイコニクス
舞台	音響	アイコニクス
舞台	舞台	アイコニクス
管理	経理・労務	チーム杉劇
管理（補助）	庶務等	チーム杉劇
事業企画／事業企画チーフ		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
事業企画		チーム杉劇
運営（コンシェルジュ）		9名 チーム杉劇（パート）

※設備管理のニックスサービスは常駐しない。

※舞台スタッフは、ホールの夜公演がない日は、運営のシフトに組み込みます。〈新規〉

※上記の他、財団事務局において以下のバックアップを実施

- ・経営企画室（JV 会議出席、経理事務補助 等）
- ・総務グループ（財団職員の給与計算及び社会保険、修繕対応 等）

【目標等】

- ・人員体制を安定させ、区民主体の運営を実現します。

【実施内容と達成状況】

■人材の配置は以下の通りとしました。（2年度末）

館長：1名

副館長：1名

事業企画チーフ：1名

事業企画スタッフ：2名

施設管理スタッフ：3名（臨時職員含む。1名はアイコニクス所属のスタッフで、シフトにも加わる）

運営（コンシェルジュ）：10名

舞台技術スタッフ：3名

■設備管理を担当するニックスサービスは、開館前や施設点検日？夜間停電対応など中心に、建物管理や清掃業務に当たりました。

区民主体の NPO 法人チーム杉劇理事会の運営方針に則り、財団事務局とも連携して、安定した体制で運営を行いました。

(3) 管理について

ア 事故防止策・緊急時(防犯)の対応、防災に対する取組

【事業計画】

1 「利用者の安全確保が何事にも優先する」という意識をもって「安全・安心を最優先」に組織体制と計画を策定し、事故の未然防止にあたります。そして、誰もが安心・安全に施設利用ができるような管理・運営を行います。

【実施内容と達成状況】

事故・防犯に対する取組

様々な状況を想定した「危機管理マニュアル」を含めた「緊急時対応マニュアル」を整備し、必要に応じて随時見直し・更新に取り組みました。

メールやペーパーの回覧などの日常的な情報共有のほか、毎月の事務室スタッフによるミーティング、年3回実施した全体研修などの際に、直近に起こった事例等を踏まえながら対応を共有しました。

ホール打合せは、練習利用を含めて、原則的にすべて対面で実施し、避難誘導についてや新型コロナの感染拡大防止のための行動を説明・理解してもらいました。

スタッフによる開館前・閉館前の点検を実施し、施設破産や危険発生の防止の確認をするほか、消毒薬の補充や換気の励行など、感染拡大防止作業も積極的に実施しました。

安全な舞台管理のため、打合せ時、利用開始時に利用者に注意喚起を徹底し、危険を伴う、または、危険の発生の可能性のある作業については、舞台スタッフが行うか、その監督の下で実施してもらいました。

全体研修の際に、緊急時の応急処置と AED の取り扱いを習得研修しました。(AED 1台を常備しています)

	<p>スタッフによる定期的な館内巡回を実施し、特に来館者の出入りの箇所の監視カメラによる録画と、モニターによる館内状況の監視を行って防犯に努めました。</p> <p>防災センター、およびビル管理事務所とは、日常的に情報共有し、常に連絡が取れる体制をつくり、事故の発生防止に努めました。</p> <p>緊急事態が発生した場合は、緊急連絡網により区役者を含む関係各所へ連絡し必要な対応にあたります。</p> <p>新型コロナのため、直接の会合等は持てなかったものの、区内の各種施設や地域の組織、警察・消防等との連絡体制を継続しています。</p>
--	--

5 収支について

(1) 利用料金設定及び割引、減免の考え方

<p>【事業計画】</p> <p>1 現在の利用区分、料金が定着し、利用者にも認知していただいているため、基本的に現行の料金設定を維持します。</p> <p>2 利用率の向上と新規利用者の開拓、及び次世代育成を目的とし既存の割引制度に加え、新たな減免制度・割引制度、優遇措置(特別料金設定)を実施します。</p>	<p>【実施内容と達成状況】</p> <p>1 現行の料金設定を維持しつつ、新型コロナの感染拡大防止のための「ガイドライン」の随時変更等に対応するため、本来は前納が原則としている利用料金の支払いを、利用当日に変更する対応を取って、返還等の発生に伴う、施設と利用者双方の負担の発生を回避しています。</p> <p>2 学校の単位での施設の促進、および、新型コロナにより学校行事の中止や減少している状況も鑑み、「杉劇学校連携プログラム」を試行し、直近の日程での利用手続きの軽減等を図りました。</p> <p>■小中高校で、計7校の利用。</p>
---	---

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 利用料金を増やすために平日利用を増やします。	1 新型コロナの影響により、平日利用を含めた施設の利用率全体が大幅に落ち込んだため、利用料金収入の減少となりました。
2 チケット収入を増やします。	2 1と同じく、新型コロナの影響により、事業の実施自体が困難となり、チケット収入全体としては大幅減となっています。 他方、野村道子プロデュース 朗読歌劇「マダムバタフライ～ある晴れた日に～」においては、これまでにないタイプの企画として、既存の顧客とは異なる層へのアプローチの結果、当館としては高額な価格設定のチケットがしっかりと売れていました。販売緊急事態宣言の発令に伴い、公演実施をしながら払戻をするという形となったため、最終的な収支はマイナスとなりましたが、今後の参考となる結果となっています。
3 助成金・協賛金・広告収入を増やします。	3 新型コロナの影響により事業実施も、施設のPR活動も困難だったため、協賛金・広告収入獲得はほとんど実績をあげられていません。 しかし、新型コロナを契機とした助成として、文化庁の「つぎのない手を育成する子ども向けコンテンツ制作事業」の100%助成を活用し「音楽物語 ぞうのババール」を実施できました。 ■令和3年1月22日 「音楽物語 ぞうのババール」 映像とピアノとお話による音楽物語 ホールにて開催:無料 保育園・幼稚園児童参加110名

(3) 経費削減等効率的運営の努力

【事業計画】	【実施内容と達成状況】
1 業務の効率化	1 新型コロナの影響による業務フローの変更や営業時間の変更などに対しても、業務が集中しすぎないように絶えず配分を見直し、1つの業務を複数のスタッフで対応できる状態になるよう努めることで、施設全体のワーク・ライフ・バランスをたもちました。
2 人材の効率的活用	2 館長・副館長が一人ずついる統括者複数体制とすることにより判断の円滑化・迅速化を図れるとともに、アイコニクス所属の管理スタッフを置くことで、より事務室内の連絡体制が整いました
3 年間の事業収支バランス	3 新型コロナによる中止・変更公演が多数発生したため、月単位の事業収支のバランスのチェックは実効性が発揮できなかったが、複数の統括者による全体的なチェック機能の向上ができました。
4 エコ活動の推進	4 ルート回収に参加し、産廃ゴミ分別の徹底、古紙リサイクルを推進しました。